



未来に向かって まちづくりの新たな5年間がスタート

第2次総合計画後期基本計画を策定

総合計画は、市政・まちづくりの最上位に位置付けられる計画で、市の進むべき方向性を示す羅針盤となるものです。
このほど、令和5年度からの5年間を計画期間とする「第2次那須塩原市総合計画後期基本計画」を策定しました。市では、

この後期基本計画をもとに、市の将来像「人がつながり 新しい力が湧きあがるまち 那須塩原」の実現に向け、持続可能なまちづくりのための取り組みを進めていきます。



問い合わせ
企画政策課
0287(6)7106



- | | |
|---|--|
| <p>1 ニューノーマル(新たな社会)
～時代の変化に柔軟に
適応した安全安心なまち～</p> | <p>2 デジタル・トランスフォーメーション(DX)
～未来技術を活用した
利便性の高いまち～</p> |
| <p>3 ゼロカーボン
～豊かな自然と共生し資源や経済
が地域内循環する持続可能なまち～</p> | <p>4 県北拠点づくり
～那須塩原駅周辺を中心とした
人々から選ばれる魅力あふれるまち～</p> |



笑いに包まれる図書館
～第二回黒磯みるる寄席～

那 須塩原市図書館みるるで、第二回となる「黒磯みるる寄席」が開催されました。昨年6月の第一回に引き続き、真打ち・柳家緑也さんと二ツ目・柳家緑太さんが出演。開催日の2月14日はバレンタインデーということもあり、男女の恋愛を題とした演目などで満員の観客を楽しませました。白河市から来た片倉史織さん(10歳)は「落語のCDが好きで、実際に観たいと思っていた。とても面白かった」と興奮をにじませていました。



スノーシューで、さあ冬の森へ
～ネイチャーウォーク大沼公園～

塩 原温泉ビジターセンター冬恒例のスノーシュー散策プログラム「ネイチャーウォーク大沼公園」が2月12日に開催され、市内外から20人が参加しました。2日前に降った大雪のおかげで一面の銀世界となった大沼周辺には、シカやテンなどの動物の足跡がくっきり。参加者は、真冬の森でしか観察できない樹木の解説を受けたり、木々の隙間をスノーシューで縦横無尽に走り回ったりしながら、雪上での自然体験を満喫しました。



自らの"やりたい"を実現するために
～那須地域開拓塾×宇大NFプログラム～

宇 都宮大学と連携し、昨年7月から計5回の講座を行ってきた開拓塾。2月28日の最終講座に併せてみるるで修了証書授与式が行われ、計11人がプログラムを修了しました。新しく何かを始めたいと思っている人や今取り組んでいる活動に課題を抱えている人など、立場の異なる人同士のディスカッションによって、さまざまなアイデアや異分野ネットワークが生まれました。那須地域をさらに楽しくする今後の取り組みに期待します。



科学のびっくり体験
～鍋掛小学校創立150周年記念式典～

鍋 掛小学校は明治6(1873)年に創立し、今年で150周年を迎えました。2月17日に記念式典が行われ、記念公演として披露されたサイエンスライブでは、空気力を体験する実験や、液体窒素を使い天井に届くほどの煙を発生させる実験にわくわくする児童たちの姿が、6年生の常盤真弘さんは「授業でできないようなすごい実験が見られて面白かった。家でもできる実験も教えてもらったので、試してみたい」と話してくれました。